

長期連載

第21回 紅白辞退と「噂」のゆくえ

これまで誰も
手掛けなかった
歌謡界の
大御所の足跡を
追うドキュメント！

芸道60周年記念

涙と汗とまつりと

——北島三郎物語

●ジャーナリスト 黒田伸

(文中写真も筆者)



最高の名誉だったと自負して
います

紅白の視聴率 が下がった

北島三郎が男性演歌歌手の大御所という表現に異論はないだろう。では女性なら小林幸子、都はるみ、そして八代亜紀の名前が挙がるかもしれない。

今年7月号で北島三郎の「引き際の美学」を掲載した文藝春秋は、8月号で八代亜紀のロングインタビュー「トラック野郎に愛されて」を掲載している。

その中で『雨の慕情』がヒットし、日本レコード大賞、日本歌謡大賞、そして「NHK紅白歌合戦」で大トリを務めた1980年のことを振り返っている。

〈それくらい歌謡曲が大盛だった。あの頃の紅白と言えば、視聴率が80パーセント。日本中、ほとんどのお茶の間が、大みそかの晩に釘づけだった。そんな時代に大トリをとらせていたんだから、歌手としては



▲2012年の「紅白」で熱唱する北島三郎(ネットの映像から)

演歌が歌謡曲の中心にあったころ、レコード大賞を獲った歌手が会場の帝国劇場や武道館から「紅白」が始まる渋谷のNHKホールまで移動するのに、パトカーと白バイが先導し、それをテレビ局のバイクが追うという、まさにお祭り騒ぎが繰り広げられた。それが1970年代から80年代にかけての恒例行事だった。

86年にはNHKが視聴率を公表して以来、最低となる59・4%に落ち込んだ。いったいこの年に何があったのか。北島は初出場から23回連続の出場だったが、この年は放送直前になって出場辞退に追い込まれている。

「紅白辞退」の 衝撃

1986年12月、北島がその1年前に広域指定暴力団稲川会の新年会に出席していたことが静岡県警の捜査で明らかになり、毎日新聞が12月27日に次のような記事として掲載した。

〈静岡県熱海市のホテルで昨年1月開かれた広域暴力団稲川会の新年会に人気歌手の北島三郎さん(50)らが出演、暴

力団賛美とも受け取れる熱演の模様を収録したビデオテープを26日、毎日新聞社が入手した〉

北島の談話も掲載され、稲川総裁との親交を認める発言をしたため、新聞・テレビは一斉にこの問題を報じた。

12月30日の北海道新聞朝刊は「北島三郎、山本譲二 紅白を辞退」の見出しで次のように報じている。

〈国民的行事とまで呼ばれる大みそか恒例の第37回「NHK紅白歌合戦」が放送を間近に控え、出場歌手をめぐる大きく混乱した。当初出場が決まっていた歌手の北島三郎さん(50) 本名・大野穰Ⅱと山本譲二さん(29) Ⅱ本名同じⅡが、昨年1月、暴力団の新年会に出席したことが明るみに出て、29日午後出場を辞退。NHKは後任に角川博さんと鳥羽一郎さんを決めたが、その後、鳥羽さんも辞退した。放送が目前に迫り、出場歌手が2人も辞退、そのうえ後任の人選でも失態を演じたのは



続きは『**月刊クオリティ**』本誌を
ご覧ください。

▼ ご購読のお申し込みは ▼

○インターネットでのお申し込みはこちらから
<https://qualitynet.co.jp/koudoku/>

○お電話でのお申し込みはこちらから

TEL 011-644-0101

(9:00 ~ 17:30 土日・祝日をのぞく)